

令和2年度 第3回豊橋市図書館協議会 会議要録

日付	令和3年2月
実施方法	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、緊急事態宣言発令のため 書面開催により実施
委員	委員定数 12名 意見提出委員数 12名
次第	<p>1 議題</p> <p>(1) 豊橋市図書館条例の一部を改正する条例の提出について</p> <p>(2) 豊橋市図書館規則及び豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について</p> <p>(3) 令和3年度の予算案の概要について</p> <p>(4) 第四次豊橋市子ども読書活動推進計画アクションプラン素案について</p> <p>2 報告事項</p> <p>令和2年度図書館資料展ふるさと探訪「豊橋公園ものがたり」の開催について</p>
配付資料	<p>資料1 (1) 豊橋市図書館条例の一部を改正する条例の提出について</p> <p>資料2 (2) 豊橋市図書館規則及び豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について</p> <p>資料3 (3) 令和3年度の予算案の概要について</p> <p>資料4 (4) 第四次豊橋市子ども読書活動推進計画アクションプラン素案について</p> <p>チラシ 令和2年度図書館資料展ふるさと探訪「豊橋公園ものがたり」の開催について</p>

■議題についての意見提出

<p>議題 (1) 豊橋市図書館条例の一部を改正する条例の提出について</p> <p style="text-align: center;">意見あり 0名 ・ 意見なし 12名</p>
<p>提出意見</p> <p>提出意見はありません</p>

<p>議題 (2) 豊橋市図書館規則及び豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について</p> <p style="text-align: center;">意見あり 1名 ・ 意見なし 11名</p>
<p>提出意見</p> <p>・大清水図書館の閉館時刻が早まるのは大変残念。豊橋には夜9時まで開館している図書館があるという事を誇らしく思っていた。いずれは中央も9時までと思っていたので残念。</p>

議題（３）令和3年度の予算案の概要について

意見あり 3名 ・ 意見なし 9名

提出意見

- ・まちなか図書館の予算が増え予算的に厳しい中、図書資料等の購入費が減らなかった事は評価する。
- ・令和3年度にまちなか図書館の整備事業が終了した後は、老朽化した中央図書館の整備を望む。
- ・コロナ禍であるので、来館しなくても利用できるデジタルコンテンツを充実できないか。

議題（４）第四次豊橋市子ども読書活動推進計画アクションプラン素案について

意見あり 5名 ・ 意見なし 7名

提出意見

- ・G I G Aスクール構想により、来年度から豊橋市の児童・生徒にも1人1台のタブレット端末が配布される。それに合わせて、電子（W e b）図書館の整備を積極的に行うべきだと思う。また、家庭の経済格差が教育格差になっている中、それを少しでも補えるような取組を期待する。
- ・取り組みの柱1-3「小学校から中学校を～」の具体的な取り組み①の「魅力ある図書リストの配布について」は、各家庭に配ることができると、児童の本選びの手助けだけでなく、どんな本を勧めるとよいか悩んでいる保護者の手助けにもなる。
- ・公共図書館を中心に学校・園・地域・家庭が協力し合って、子どもの読書活動をよりよくするための計画が細かく考えられている。第四次計画について、各校の図書館担当者にしっかり伝え、十分に理解してもらい、学校図書館も同じ歩調で子どもの読書活動を推進していきたいと思う。
- ・前期アクションプラン素案・第2章の3「第三次計画の成果と課題」目標2、目標3の課題について感じたことを述べたい。子どもの年齢が上がるに従い、読書の機会やそれに割く時間が減少しており、その理由も明確だ。（部活や受験で忙しい・スマホの利用率が上がる等）。このような中で、豊橋市においては県内の他地域より読書好きな子が多いのは喜ばしいこと。しかし、高校生以上の子どもたちの読書離れが顕著なのは明らかで、解決につながるアイデアがあればとも感じる。
- ・資料から、課題に対し図書館がこれまでさまざまな方法で働きかけをしてきたことがよくわかる。同時にそれらを成果に結びつける難しさも伝わってくる。
- ・子どもたちへのアンケートでは、端的に「忙しい」「時間がない」などの回答が多いようだが、本を読まない子、読めなくなった子たちの中には、もっと繊細な「読まない理由」や「読めない理由」があるのではないかという印象を持った。時間が足りないと言いつつ、ネットやゲームに割く時間はある。それは、本よりも楽しく興味のあるものを優先しているだけということかもしれないし、さらに、本当は読みたいのに読めない（苦手意識）とか、どうすれば本好きになれるのかわからないなど、読書に対する悩みやコンプレックスを感じている子もいるのではないか。
- ・ビブリオバトルやブックトークなど本が好きな人を対象にしたイベントだけでなく、読書が苦手、本より楽しいことがある、という人たちにもアプローチし、読書に関心を持ってもらうため、間口を広げる思い切った仕掛けを考えてみるのも有意義かもしれない。例えば、「読書嫌いの人を集めて語り合うトークイベント」「本を読まずに書く妄想読書感想文コンクール」「無人島に持っていく究極の一冊を見つけよう」「人生最後に読みたい本を図書館で考える」「図書館で小説や絵本の登場人物コスプレ撮影会」など。
- ・そもそも、なぜ読書が大切なのか？について、読書を推進する親や大人たちが明確な答えを持つこと、あるいはそれを考え続けることも必要だと思う。例えば「本を読めば豊富な情報を得られるし、

知識・教養が高められるよ」と子どもに伝えて、「それならネットでもできる」と言われてしまった場合、どう答えたらよいのだろうか。そんな時、まずは子どもの率直な疑問に同じ目線で向き合っ
て、ともに考える姿勢を忘れないようにしたい。本や読書が好きな図書館利用者のひとりとして、
そしてまさに“読書が苦手”で“スマホヘビーユーザーの大学生”の息子を持つ母として、私自身
が「読書」について日頃、親子で話し合っている内容などもぜひ図書館のみなさんと共有できれば
と思う。簡単ではないが、子どもに限らず誰もが自然に無理なく本や読書に興味を持てるようにな
ればよい。

- ・今年はいよいよ待望の「まちなか図書館」がオープンするので、魅力的な施設を最大限に活用して、
のびのびとした気風の豊橋らしさを生かし、独創的で楽しい工夫やアイデアを図書館の方とともに
考えてみたい。既存の三つの図書館と併せて、豊橋には素晴らしい地域の「宝＝図書館」がある
ということに、さらにみんなで誇りを持てるようになればと思う。
- ・全体的には、良いプランだと思うが、ボランティアとして活動する立場から見ると、ボランティア
コーディネーターの活躍や育成に触れた文章がないのがさみしい。「赤ちゃん絵本ボランティアの
会」のメンバーはブックスタートの理念に共感し集まった者たちだが、楽しく充実した気持ちで活
動できているのは、コーディネーターのおかげだ。コーディネーターなくして、これからも活動は
進んでいかないのではないかと。コーディネーターの存在を多くの人々に知って欲しい。
- ・今後、豊橋創造大学の学生及び卒業生が認定絵本士として、地域の子供達の読書活動に積極的に
関わる機会が増えると思う。その際には、豊橋市図書館に協力・支援をお願いしたい。

■報告事項及びその他の意見提出

提出意見

- ・多いとは言えない予算の中で、良く創意工夫していると思う。
- ・豊橋南高校では、豊橋市図書館との連携が自校の図書館活動の活性化につながっており、今後も県
立学校との交流をお願いしたい。
- ・本のデジタル化に対する対応を考えていく必要がある。学校等で配付されるタブレット端末が自宅
等に持ち出せるのであれば、図書館でもネット環境の構築が必要になる。特にまちなか図書館では、
- ・子どもたちにとって、さらに図書館が身近になり、図書館の利用が増えたり、読書に親しんだり
できるよう、学校教育を充実させていきたい。
- ・G I G Aスクール構想に関連して、児童のタブレット端末からも図書館のHPなど利用しやすい
工夫をしていけるとよい。
- ・今年度も、学校の授業を支えてくださり、ありがとうございました。今年度は、コロナ禍で図書資
料を活用した授業が例年より少なくなりました。来年度は、今年度以上の利用があると思
われる。様々な面で図書館の力をお借りすることになると思うので今後もお願いしたい。
- ・議題（４）との関連で、今後、高大連携における大学図書館の位置づけも議論の余地があるか
と思う。早急な課題ではないが、各位の念頭に置いていただきたい。
- ・中央図書館は子育て中に利用しはじめて 30 年以上お世話になっている。建物が古くさいとか、暗
いとか言う人もいるが、最近の図書館は温かい空気が流れ、リラックスできる場になったと感じて
いる。スタッフの皆さんの心づかいによるものか。受付カウンターに数人並ぶと、すぐに横から「こ
ちらへどうぞ」と声をかけてもらえる。
- ・まちなか図書館がうまく軌道に乗ってほしい。